

## 戦略1 ともに作る協働のまちづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

### めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	予算額									
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,766	千円	3,996	千円		千円		千円		千円
1 B 大学が活躍するまちづくり	3,637	千円	3,779	千円		千円		千円		千円
計	9,403	千円	7,775	千円		千円		千円		千円

### 戦略プロジェクト1 A 多様な主体が協働するまちづくり

#### 【プロジェクトの目標】

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

#### ◆成果指標1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1						35.0

#### ◆成果指標1 A-2 協働のまちづくりに参加している（したことがある）市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7						50.0

#### <27年度の方針>

戦略プロジェクト1 A「多様な主体が協働するまちづくり」は、市民協働推進事業を除き、26年度からの新規事業で構成されていることから、27年度も事業内容を効果的なものに見直すなかで、継続して実施する。

◆推進プログラム①「協働によるまちづくり」では、市民参加条例制定委員会の検討を踏まえ、市民参加の理念や手続きを内容とした「江別市市民参加条例」の運用を開始し、市民参加手続きの透明化を図るとともに、小学校4年生・6年生を対象とした「協働」に関する出前講座を全小学校で実施し、さらなる協働意識の向上を図る。

◆推進プログラム②「協働を担う人づくり」では、協働を担う人材育成事業に関して、27年度から、協働の意識付けにつながる内容の市民向けセミナーに事業内容を見直し、市民協働推進事業と自治会活動支援事業では、協働を担う人材の発掘・育成が引き続き課題となっていることから、市民活動団体・自治会の担い手の発掘・育成につながる事業を重点的に実施する。

◆推進プログラム③「協働に取り組むための組織づくり」では、27年3月から自治会活動などに関するホームページの運用を開始するほか、27年度からは市民活動団体による出前講座情報を整備する。

### ◇推進プログラム1A-① 協働によるまちづくり

#### <課題>

- 市民参加・協働に係る制度の整備
- 協働に関する意識の向上

#### <取組の概要>

- ・市民参加条例の制定
- ・小学生に向けた協働意識の啓発、併せて保護者への波及効果

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
市民参加条例制定事業	制定された条例の本数	0 本	1 本	本	
	事業費	633 千円	109 千円	千円	
協働を知ってもらう啓発事業	リーフレット等配付枚数	2,000 枚	2,200 枚	枚	
	出前講座参加者数	50 人	1,943 人	人	
	事業費	1,226 千円	466 千円	千円	

### ◇推進プログラム1A-② 協働を担う人づくり

#### <課題>

- 高齢者の知恵や経験の世代間継承
- 自治会加入率の向上
- 活動意識の向上
- 自治会役員の担い手となる人材の育成

#### <取組の概要>

- ・協働を担う人材を育成するためのセミナー等を開催
- ・自治会活動の手引きの作成
- ・自治会活動員の開拓（えべつ地域活動運営セミナーの開催）
- ・市民活動団体の担い手を発掘・育成するための市民協働周知啓発セミナーを開催

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
協働を担う人材育成事業	セミナー等参加者数	— 人	50 人	人	
	事業費	76 千円	39 千円	千円	
市民協働推進事業	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	900 人	900 人	人	
	事業費	3,405 千円	3,185 千円	千円	
自治会活動支援事業	セミナー参加者数	80 人	50 人	人	
	事業費	426 千円	197 千円	千円	

### ◇推進プログラム1A-③ 協働に取り組むための組織づくり

#### <課題>

- 市民協働に関する情報発信を強化
- 自治会と市民活動団体との協働事業の伸展
- 自治会と市民活動団体双方の情報共有

#### <取組の概要>

- ・自治会活動と市民活動団体の協働事業を推進するため、自治会活動及び市民協働に関するホームページを整備
- ・自治会等に対する市民活動団体による出前講座情報を整備

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
市民協働推進事業 【重複】1A-②	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	900 人	900 人	人	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

【プロジェクトの目標】

江別市の特性として市内に4つの大学があり、これらの大学及び学生が、それぞれの得意分野を活かして、地域課題の解決やまちの活性化のために、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

◆成果指標1B-1 大学及び学生等との連携事業数（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
28						35

<27年度の方針>

戦略プロジェクト1B「大学が活躍するまちづくり」は、市内4大学の教育・研究機能を活用して地域の課題解決に取り組むことなどを内容としているが、26年度は、除雪ボランティアなど、ボランティア活動で新たな動きが芽生えつつあることから、27年度も引き続き同じ事業を実施する。

◆推進プログラム①「大学の得意分野を活かした地域の活性化」では、大学版出前講座支援事業において、26年度に出前講座のメニューが整ったことから、27年度は地域（自治会や学校等）で行う出前講座の実施を支援する。

◆推進プログラム②「知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進」では、27年度から、えべつ市民カレッジで学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を実施する。

◆推進プログラム③「学生の力を活かしたまちづくり」では、引き続き、学生の地域活動やまちづくりに資する活動、ボランティア活動に対し支援を行う。

◇推進プログラム1B-① 大学の得意分野を活かした地域の活性化

<課題>

- 大学と地域、企業との連携促進
- 大学連携補助金を利用した研究の有効活用

<取組の概要>

- ・地域と大学との連携を促すため、大学の教員が地域（自治会や学校等）で行う出前講座の実施を支援
- ・研究成果を市政に反映させるため、未来戦略や市政の緊急課題に関する研究に対し助成

事務事業	指標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備考
大学版出前講座支援事業	出前講座参加者数	500人	400人	人	
	事業費	108千円	44千円	千円	
大学連携調査研究助成事業	補助事業本数	3件	3件	件	
	事業費	3,013千円	3,020千円	千円	

◇推進プログラム1B-② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進

<課題>

- 地域を創造する人材を育成するための多様な学習機会の提供
- 大学や関係団体との連携による事業内容の充実と周知方法の工夫

<取組の概要>

- ・「ふるさと江別塾」と大学自主公開講座を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報提供
- ・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を実施
- ・自治会回覧等周知方法の拡充

事務事業	指標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備考
えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業	えべつ市民カレッジ講座数	30講座	100講座	講座	
	事業費	216千円	385千円	千円	

◇推進プログラム1B-③ 学生の力を活かしたまちづくり

<課題>

- 学生の力を活かしたまちづくりの促進
- 地域のイベントへの学生の参加

<取組の概要>

- ・学生の力をまちづくりに活かすために、地域活動やまちづくりに資する学生の活動に対する支援、補助等
- ・学生のボランティア活動を支援

事務事業	指標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備考
大学連携学生地域活動支援事業	補助事業本数	3件	3件	件	
	事業費	300千円	330千円	千円	